



【学年通信は保護者の方にも見せてください】

### ◆うまくいかないときに、伸びる。

「負けたときに自分のどこが足りないのか、これからどうすればいいのかを考える。でも勝ったらこれでいいんだと満足しちゃう。考えなくなる」(朝日新聞2023年2月7日)

——昨年2月、女流棋聖戦(囲碁)にのぞむ仲邑菫さんのお母さんが述べた言葉です。タイトル戦を制した仲邑菫・女流棋聖は、その後11月に記者会見を開き、活躍の舞台を囲碁強国の韓国に移すと表明。今年3月から韓国棋院へ移籍することが決まっています。

物事がうまくいく、学力が伸びる、目標を達成する、成功をおさめる——これらは決して“勝利の連続”によって構築されているわけではありません。常に勝ち続けることではなく、常に成績が伸び続けることでもありません。時に停滞があり、後退があります。うまくいっていない時にこそ、何が足りていないのか、何を強化すべきなのか＝“どこをどうすればいいのか”を考え、実行し、そして次の機会に押し戻そうと努めること——その積み重ねが自分の成長をもたらします。“よい結果＝成果”は、そうした成長を土台にしてもたらされますが、時として望んだ成果に結び付かないこともあります。その点において成長と成果は別のものです。しかし、望んだ成果が得られなかったとしても、振り返れば成長著しいというケースは、とても多く見られます(この話は別の機会にしましょう)。

2024年は大学入試に向け、自分の志望について実に多くのチェックの機会があります(2025年に入ると本番あるのみです)。模試を受けるたび、志望調査を記入するたび、周囲の受験の話が聞こえてくるたび、“これでいけるのかな?”と不安になるかもしれません。しかし、みなさんは(おそらく例外なく全員が)初めての大学受験挑戦であり、不安になる時があるのは自然

なことです(むしろ、不安を全く感じない高校生の方が極めて稀な存在です)。

“いまの自分が、どこなら合格出来るか?”ではなく、“望む進路を実現するために、今の自分をその水準へどうやってもっていくのか?”を、思考の軸にしましょう。うまくいかないことは、きっとたくさんある。でも、うまくいかない時こそ、成長の好機です。冒頭の記事は、子ども囲碁教室を営んでいた仲邑さんのお母さんの言葉でしめられています。

「天才と思える子はいなかったけど、やったら強くなるねって子はいました。うちの娘もそう。努力が強さにつながる。それは本人が一番わかっています」

### ◆1/11(木)英語・宿題テスト 時程

- 14:25 チャイム 着席・問題配付
- 14:30 放送 解答開始
- (15:15 チャイムは無視)
- 15:20 放送 解答終了
- 答案回収後、終礼

### ◆当面の予定

- 1/9(火) 午前:授業(B火1~3)
- 午後:ベーシックテスト(国・数)
- 11(木)LHR 英語・宿題テスト
- 13・14(土・日)2024年度共通テスト(3年)
- 15(月)2024共通テストリサーチ実施(3年)
- 19(金)2024共通テストリサーチ返却(3年)
- 18(木)LHR 進路⑦(志望理由書その1)
- \*大学の募集要項を準備すること
- 19(金)午後:英検2級受験
- 23(火)午後:河合塾 高2共通テスト模試①
- 24(水)全日:河合塾 高2共通テスト模試②
- 25(木)LHR 進路⑧(志望理由書その2)